

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら下荒針教室（児発）			
○保護者評価実施期間	令和6年6月1日	～	令和6年6月30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和6年6月1日	～	令和6年6月30日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団（グループ活動）により、ひとりひとりに寄り添いじっくり対応できる	・友だち同士のトラブルでは、互いの話をしっかり聞き互いの思いを伝え合ったり、どうしたらよいか等を最後までしっかり対応していくようにしていく。	・ひとりひとりの関わる時間を大事にしなが、安心して楽しく過ごせる場であるよう努めていく
2	・個別活動、集団活動を取り入れながら支援をしている	・利用児童の年齢や活動量等を考慮しながら、安心して遊べる場を選ぶようにしている	・集団活動では、みんなで楽しめるものや季節や行事に合ったもの等を用意していくようにする。 ・個別活動ではその子にあった内容のものを用意していくようにする
3	・さくらスマイルやSNSで活動の様子を毎月保護者の伝えている	・子ども達が楽しく活動している様子がわかるよう多くの写真を載せるようにしている。全員の写真が掲載できるように（掲載OKの子どものみ）心掛けている	・支援に負担にならないよう全職員で連携を取りながら、今後も子ども達のいい表情が多く撮れるよう努めていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練の様子等、保護者に伝える場が少ない	・さくらスマイルの配布が月末のため、タイミングが合わなかった	・毎月発信しているさくらスマイルやSNSで訓練の様子や内容等をお伝えしていく
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催がなかった	・働いている保護者が多く、参加が負担になってしまうのではないかと考えていたため	・希望があった場合は、開催できるよう努めていく
3	・保育所や幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会がない	・利用児童が保育園や幼稚園での生活をしているため、あえて交流の場を持たなかった。	・今後も公園や児童館、室内遊戯室等の利用を通し、障害のない子ども達との交流を図っていきたい。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら下荒針教室（放デイ）		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 6 月 1 日		～ 令和 6 年 6 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	令和 6 年 6 月 1 日		～ 令和 6 年 6 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 12 月 20 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	野外活動の時間を多く設けている	連続して同じ場所での活動にならないように注意し、活動場所を考えている。 安全に活動できる場所が事前に下見に行きまとめたファイルを用意し、全職員が把握できるようにしている。	季節や天候により活動が制限されてしまうことがあるため室内で活動できる場を増やしていきたい。
2	時間差で活動し、室内活動のスペースがとれるようにしている	グループ分けをする事で教室内が騒がしくならず、宿題等集中して取り組める時間を設けている。	季節や天候により野外活動が難しい時もあるため、パーテーション等を用意し、広い空間を活動ごとやグループごとに区切り有効に使えるようにしていきたい。
3	さくらスマイルやSNSで活動の様子を毎月保護者に伝える	室内、野外での活動写真を多くのせ、利用時の様子を伝えている。 掲載許可が出ていない児童の写真がないかダブルチェックを行っている。	写っている子に偏りがでないよう掲載許可が出ている児童はバランスよく掲載できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練の様子等、保護者に伝える場が少ない	さくらスマイルの配布が月末のため、タイミングが合わなかった	毎月発信しているさくらスマイルやSNSで訓練の様子や内容等お伝えしていく
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催がなかった	働いている保護者が多く、参加が負担になってしまうのではないかと考えていたため	希望があった場合は開催できるよう努めていく
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少なかった	公園等で多少関わりを持つことはあったが、交流会のような機会を設けていなかった	機会があればそういった機会を設けられるよう努めていく